

会 議 録

会 議 名	第7回 和泉市総合計画審議会
開催日時	平成28年5月13日(金) 午後2時から午後3時まで
開催場所	和泉市役所 3号館 市議会委員会室
出席者	(委員) 山本秀明委員、末下広幸委員、松田義人委員、岡博子委員、今城巧副会長、 阪口吉男委員、西田清委員、松田良輝委員、浅井雅昭委員、上西恵子委員、 椎場光穂委員、山本益也委員、橋本良孝委員、岡本雅彦委員、今川晃会長、 村上あかね委員、篠原賢太郎委員、菊池隆夫委員、佐藤英治委員、戸江雅一委員 ※石原日出子委員は、欠席 (事務局) 辻市長、宮崎副市長、森吉公室長、黒木理事、小泉政策企画室長、 佐々木企画経営担当課長、門林総括主幹、藤原総括主査、樋川主事
議事次第	1 第5次和泉市総合計画(案)への答申(案)の検討について 2 今後のスケジュール等について 3 閉会
会議資料	・会議次第 ・資料1 第5次総合計画(案)への答申のかがみ文 ・資料2 第5次総合計画(答申) ・資料3 第5次総合計画(案)の【修正箇所対比表】 ・資料4 今後のスケジュール
会議の要旨	・第5次総合計画(案)への答申について議論を行った。 ・本日の意見を踏まえ、修正箇所を会長とりまとめの上、第5次総合計画(案)に対する答申を提出することとした。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ()
その他の必要事項	傍聴者 3名

発言者	審 議 内 容 (文中敬称略)
司会	<p>■ 開会</p> <p>大変長らくお待たせしました。ただ今から、第 7 回和泉市総合計画審議会を開催いたします。委員の皆様方におかれましては公私ご多用のところ、本委員会にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>本日の会議につきましては、市議会の石原委員が欠席と伺っておりますが、委員の半数以上がご出席ですので、会議は有効に成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>また、本日が最後の会議となりますことから、市長の辻も出席する予定となっておりますが、現在、他の公務に出ていますので、終了次第、この会議に出席する予定とさせていただきます。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本市では 5 月からクールビズを推奨しておりますので、本日の会議に事務局が軽装にて失礼させていただいておりますことをご理解のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、お配りしております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>以上、資料の不足等はございませんでしょうか。</p> <p>(不足等、なし)</p> <p>ここで、会議録の作成につきまして、改めて説明させていただきます。本会議では、会議録作成のため、発言内容を録音させていただきますが、会議録作成後は録音内容を消去いたします。録音のため、お手数ですが、ご発言の際はマイクのご使用をお願いいたします。また、会議録は発言者の氏名を公表して作成させていただきますことをご了承願います。</p> <p>それでは、ここからの議事進行は今川会長にお願いいたします。今川会長、どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
今川会長	<p>皆さん、こんにちは。本日もよろしくお願いいたします。</p> <p>前回の会議では、第 5 次総合計画(案)のパブリックコメントの結果について検討を行いました。その後、他に計画に盛り込む必要のある項目があるかどうかの検討を行い、総合計画(案)についての審議を終えたところです。</p> <p>本日は、今までの審議結果を踏まえまして、市長へ答申を行う答申(案)について検討いたします。事前にお配りしました答申(案)は、今までの議論、意見を踏まえ、事務局に取りまとめさせたものとなっております。この会議の総仕上げとなりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に従いまして会議を進めさせていただきますが、本日の会議は 16 時までを目処に進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p>
今川会長	<p>■ 第 5 次和泉市総合計画（案）への答申（案）の検討について</p> <p>それでは、案件 1「第 5 次総合計画(案)への答申（案）の検討」に入りたいと思います。まず、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料 1、2、3 について説明)</p>

今川会長	<p>ただ今説明がありました答申(案)の構成は、「答申のかがみ文」と「修正事項を盛り込んだ第5次総合計画(案)」、そして「諮問された計画(案)から変更した項目がわかる修正箇所対照表」の3点となっております。また、答申のかがみ文には、会議でいただいたご意見等を付帯意見として盛り込んでいます。</p> <p>答申(案)につきまして、ご意見、ご質問がございましたら、お願いいたします。</p>
山本(秀)委員	<p>◆ 付帯意見の扱いについて</p> <p>今回、付帯意見を入れたかがみを付けて答申を渡すということで、初めてかがみの部分を見せていただきました。今まで、私自身、総合計画(案)自体の確認やその中身を議論するという観点から、変更した方が良いと思う点について意見を出しましたが、「この部分を付帯意見として付けてほしい」という意味では意見を出していません。したがって、本日、意見を出すことによって付帯意見として変更等をしていただけるのか、それも含めて、先に考えを示していただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>案の段階なので変更は可能だと考えています。事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>今回、かがみ文に付帯意見を付けて提示させていただきましたが、このような形で市長に出ささせていただいて良いかどうかという案をお示ししていますので、当然、修正は可能です。よろしくお願いたします。</p>
山本(秀)委員	<p>◆ 「計画の見直し及び進行管理」の位置づけについて</p> <p>それでは、変更も可能ということなので、付帯意見について意見を述べたいと思います。</p> <p>「(5)都市経営の促進について」では「広域的な取組みの推進」と「計画の見直し及び進行管理について」が取り上げられており、「広域的な取組みの推進」については議論の中でもこのような意見が出たと思いますが、「計画の見直し及び進行管理について」の項目を「(5)都市経営の促進について」の中に入れるのは違和感があります。</p> <p>内容を見ますと「外部人材の評価を得ながら、施策・事業の改善を図りたい」という部分はPDCAサイクル、事業の見直しの部分で都市経営にもつながると思いますが、ここで謳われているのは、あくまでも計画についての見直し・改善かと思しますので、「計画の見直し及び進行管理について」の部分は、「3 その他」のところに入れるなど計画全体としてこう取り組むべきだという位置づけにした方が良いのではないかと思います。</p> <p>◆ 事業評価について</p> <p>また「(5)都市経営の促進について」では「広域的な取組みの推進」の部分が重要だと思います。人口ビジョンにおいても上位値を取るということですが、人口が伸びる見込みがなく、当然、税収も減っていく中でいろいろな施策展開を行うためには、やはり財源の捻出が重要ですので、ここで言われる「都市経営の促進」を進めることによって財源を生み出すことが非常に重要になります。</p> <p>それについて、和泉市でも行政評価をされていると思いますが、やはりコストを意識して成果を重視した市政の推進が重要だと思います。そういう意味では、事業目的を明確にした</p>

	<p>中で行政評価も導入されていますが、スクラップ&ビルドの事業見直しがなかなか進んでいないのが現状だと思います。やはり、目的に沿った成果が同じであれば、今までの事務事業の方法を変えて進めていくことが必要ではないかと思います。</p> <p>総合計画にも書かれていますが、成果主義を実践していくためには、やはり職員の意識改革が重要ですので、研修制度の充実も大事ですし、モチベーションを上げるためにも、頑張っている職員が報われるような給与、昇任制度等、人事評価が導入されている中で能力実績主義につなげていくことが重要かと思います。</p> <p>◆ 公共施設の適正配置について</p> <p>もう1点は、総合計画(案)の「重要施策 34」に公共施設の適正管理をどうするかということが示されていますが、管理の適正化と配置の適正化、人口減少が見込まれている中で、既存の公共施設の配置を見直していくのは難しいと思いますし、学校等についても統廃合の問題が起きると思います。しかし、それをきちんと推進していかなければ、コスト的に無駄なお金が使われることとなります。</p> <p>したがって、「重点施策 34」には適正管理が謳われていますが、できれば配置の適正化も付帯意見の中に入れて進めていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>今のご意見をまとめますと、「(5)都市経営の促進について」で「広域的な取組みの推進」はそのまま良いけれども、「計画の見直し及び進行管理」は別項目立てをした方が良いということ。さらに、「(5)都市経営の促進」のところに公共施設の配置の適正化という意見があった旨を記載してほしいということかと思います。</p> <p>評価の部分は「計画の見直し及び進行管理について」のところに書かれている内容でよろしいでしょうか。</p>
山本(秀)委員	<p>これは計画についてのPDCAサイクルなので、できれば事業のPDCAサイクルを促進させ、事業の成果を重視した中での積極的なスクラップ&ビルドを推進するべきという形で入れていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>そうすると「(5)都市経営の促進」については、「広域的な取組みの推進」と公共施設の配置の最適化、成果を重視した行政評価を行い、事業のスクラップ&ビルドに取り組むという3項目でよろしいでしょうか。</p>
山本(秀)委員	<p>できれば、人事改革の部分が重要だということで、実績に基づいた給与、昇任制度の構築を推進するべきという部分も含めていただければと思います。</p>
今川会長	<p>今のご意見について、他の委員の皆さんのご意見はいかがでしょう。</p> <p>(意見等、なし)</p> <p>今のご提案について、確かに「計画の見直し及び進行管理」は別項目立ての方が適正かと思しますので、それでよろしいでしょうか。項目の名称については事務局にお任せしてよろしいでしょうか。</p>

	<p>(異議なし)</p> <p>では、「(5)都市経営の促進について」の2つ目の「計画の見直し及び進行管理について」は別立てにしたいと思います。</p> <p>それで「(5)都市経営の促進について」は「広域的な取組みの推進」と公共施設の配置の最適化、成果を重視した行政評価を行い、事業のスクラップ&ビルドに取り組むこと、それから、職員の資質向上も含めた人事のあり方を前向きに検討する、このような方向性としてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>◆ 女性の積極的な登用について</p> <p>それ以外に気になる点として、「組織・人づくりの推進」のところで、会議において女性の積極的な登用について意見を頂きましたが、文章の中では女性に限らず、男女共にという表現の方が良いということでそのようになりましたが、一方で女性活躍推進法が今年の4月に施行されましたので、付帯意見の「(5)都市経営の促進」の中で、先ほどの山本(秀)委員の意見に1つ加えてはいかがかと思ひます。よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>◆ 財源確保の申し入れについて</p>
岡委員	<p>限られた財源の中で事業を進めていくことが前提だと思いますが、計画を推進するにふさわしい財源の確保を、全国の地方自治体と共に国に対して毎年きちんと申し入れていく旨、答申のかがみ文の中に書いていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>総合計画の中では、市として財源確保に努めますが、市町村の総合計画の意見として財源確保を国に申し入れることは書き難いという印象があります。それについては、会長と相談させていただきますが、総合計画の内容としては適さないのではないかと思います。</p>
岡委員	<p>これは審議会が市に対して書くかがみ文ですので、皆さんが了解していただいたら、審議会の中で「財源確保に努めていただきたい」と書いていただけるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>もちろん、その通りです。つきましては、財源確保について「市の財源を含め～」という財源全体を包含した形で、確保していくようにということを付帯意見として述べることは可能かと思ひますので、ご審議のほど、よろしくお願ひいたします。</p>
今川会長	<p>他の委員の方々のご意見はいかがでしょうか。</p>
椎場委員	<p>財源確保は当たり前のことであって、それを怠ることは考えられないので、敢えて提言の中に入れなくても良いのではないのでしょうか。行政であれば、住民が納得するほどの財源を確保しなければならないのは当然のことだと思ひます。</p>

今川会長	他にご意見はございませんか。
岡委員	<p>毎年、財源確保の申し入れをされていることは分かっていますが、人口減少に伴って地方交付税が減らされていく中で、一方では地方創生の名前の下で「他にも平均的にばら撒かなければならないので、ここは我慢してほしい」というような形で決まってきたと考えています。他の社会保障等の財源も削られるという国の実態もありますので、やはり国が地方創生と謳っている限りは、今度の計画を国が義務付けたわけではありませんが、特にこの10年間の推進を保障するものとして、それにふさわしい財源確保については、審議会として「きちんと行ってください」という意思を示していただきたいと思います。</p> <p>このまま財源が減ってしまうと、減ったものを回復させるのはできた試しがないので、やはりそこをきちんと行っていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>財源に関する表現として、事務局から説明がありましたように「3 その他」にも若干関連すると思いますが、先ほど提案がありましたPDCAサイクルを回して、財政状況を判断しながら効果の上がる方法を考えるということで、それに加えて、さらに財源の確保に努めてほしいというくらいの表現ではいかがでしょうか。市長会や市議会議長会等でもいろいろと取り組まれていると思います。表現については、後ほど事務局と調整させていただいてよろしいでしょうか。</p>
椎場委員	<p>財源の確保までこの答申の内容に入れる必要があるのでしょうか。前提として、財源ありきではないのでしょうか。それで、今、審議をしていると思います。</p>
今川会長	<p>その点も含めて、他の委員の方々のご意見はいかがでしょうか。</p>
山本(秀)委員	<p>財源の確保については、椎場委員が言われる通り、市から要望する場合がありますし、先ほど委員長が言われたように市議会議長会も含めて市議会の方でも意見書の形で要望する場合がありますので、当然、根拠のある財源要求であるならばしていくべきだと思います。</p> <p>したがって、あくまでも第5次総合計画の内容に適するか、適さないかを含めて、私は委員長に一任させていただきたいと思います。</p>
今川会長	<p>もう少しご意見を頂いてから判断したいと思いますが、他の委員の方々はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>全体としては、日々、行政も市長も議長をはじめ議会も努力しているので、敢えて書く必要はないということでもよろしいでしょうか。むしろPDCAサイクルをしっかりと回しながら効果的な行政を進めることが、支出の削減にもなりますし、より効果的なものになっていくのではないかと思います。</p> <p>そういう意味で、先ほど山本(秀)委員が指摘された範囲に留めるということでもよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

	<p>それでは、他にご意見はございませんか。</p>
佐藤委員	<p>◆ 一般会計と総合計画の関係について</p> <p>一般会計と総合計画は常にリンクするのでしょうか。市民の立場としては、その点が良く分かりません。</p>
事務局	<p>この計画は、福祉や教育部門等にかかる予算の一般会計の部分と、病院や上下水道等の企業会計と、すべてを含めるという位置づけになっています。収支フレームについては、前回もご質問をいただきましたが、「躍進プラン(案)」で収支見通しを立てており、そちらと整合性を図りつつ進めていく計画内容になっていますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>総合計画に沿って計画が進められるわけですが、その中で適切な予算が適正に使われているかどうかのチェックは、市議会側で行われるのでしょうか。</p>
今川会長	<p>私の理解では、これは基本的な方針を定めているものであり、その下で各事業が設定され、その事業に予算が付きますので、今の予算の範囲内でどのような事業を展開して、より効果が上がるかは行政の方で判断されます。</p> <p>ただ、その事業と目的との関係の評価については、PDCA も含めて外部評価委員会が設けられると思いますので、そういうところで評価されるのではないかと判断しています。</p>
事務局	<p>総合計画は、今後10年間の取組みの方向性を示しています。これを基準に、どのような事業を行うかという組立を行い、予算を組んで、その後、予算の審議については議会の方に提案させていただいて審議していただき、可決されましたら、それに伴って執行していくという毎年の流れになっています。</p> <p>進行管理につきましては、前回の会議でお示ししました成果指標等も活用しながら、きちんと進行管理を行います。進行管理の状況については、ホームページ等で公表させていただきながら進めていきたいと考えています。</p>
今川会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>他に何かございますか。</p>
菊池委員	<p>◆ 「計画」の意味について</p> <p>今回のかがみ文の内容については、きちんとこれまでの論理が捉えられていると思いますが、いくつか質問があります。</p> <p>冒頭に『和泉市総合計画(案)及び和泉市総合戦略(案)(和泉市人口ビジョン(案)含む)』について、別添『第5次和泉市総合計画(案)』のとおり、答申します。今後、計画策定にあたっては本答申を十分尊重される」とありますが、「今後、計画策定にあたって」の「計画」</p>

事務局	<p>とは通常、前に出ている諸計画のことを指すと思います。そうしますと、「今後、計画策定にあたっては」の意味が分かりません。</p> <p>今回、市長から総合計画(案)をこの審議会へ諮問させていただきました。それで、これまで7回の審議を経まして、資料2の総合計画(案)の形で答申を出します。こちらを市長の方に提出していただき、この答申を受けて、市長の方で計画策定の事務手続きを行います。計画の策定は市で行いますので、こちらの答申を受けて、今後、策定をするという形になります。</p>
今川会長	<p>これはあくまでも私たちが出す案ですので、最終的な確定は市長を中心とした市の方で行われるということです。</p>
菊池委員	<p>もう少し、誰が読んでも意味が分かるような文章があるのではないかと思います。</p>
菊池委員	<p>◆ 「総合戦略」「人口ビジョン」の成案について</p> <p>関連しますが、「総合戦略」「人口ビジョン」は昨年中に成案になっており、当然、政府の方にも提出されていると思います。その成案が製本されたものを私たちは受け取っているのでしょうか。案等は頂戴していると思いますが、「まさに国に出したもの」は手に入っていないような気がします。</p> <p>それが政府の方にわたって、政府がそれを読んで、それに対するリアクションとして和泉市に向けてどのような指摘があったのか、あるいは、評価があったのか、どのようなコメントがあったのか、作った側としては、それを是非知りたいと思います。その点はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>「総合戦略」の成案については、会議終了後に各委員のところに送付させていただいたと思いますが、もしお手元にならなければ、また準備させていただきたいと思います。</p> <p>もう1点、国の方からコメントがあったかというご質問ですが、国の方に提出はしていますが、個別に和泉市の総合戦略に対する特段の回答はなく、和泉市としては総合戦略に基づいて地方創生の取組みを進めていくこととなります。国は、全国的にどれだけ策定したか、策定している団体は何団体かという形では公表していますが、特段「和泉市の計画はこうです」というような講評は頂いておりません。</p>
今川会長	<p>他にご意見はございますか。 (意見等、なし)</p> <p>それでは、先ほど頂きました意見も加えて案を修正させていただきますが、修正については、確認していただく時間ありませんので、私の方に一任していただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。 (異議なし)</p> <p>なお、市長には5月20日に答申を提出する予定です。もちろん、内容につきましては、</p>

	<p>後日、皆様に郵送等によってご連絡差し上げますので、よろしくお願いいたします。</p>
今川会長	<p>■ 今後のスケジュールについて 続きまして、案件2「今後のスケジュール等について」に移ります。まず、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料4について説明)</p>
今川会長	<p>ただ今、スケジュールについての説明をしていただきましたが、これは今後の流れの案です。このように進めていただければと思いますし、また、総合計画の市民への周知や、あるいは職員研修等にしっかりと取り組んでいただければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、前回の会議で、事務局から第5次総合計画の成果指標(案)についても示されましたので、今後のスケジュールや成果指標(案)についてご意見、ご質問がございましたら、お願いいたします。</p> <p>(意見等、なし)</p> <p>それでは、よろしくお願いいたします。</p> <p>他にご質問等もないようですので、本件についてはこれで終了させていただきます。</p>
今川会長	<p>■ 閉会</p> <p>昨年11月13日から本日まで約7ヶ月間にわたり、7回の審議を重ねて参りました。</p> <p>和泉市は、昨年行われた国勢調査におきましても、前回の調査から人口が増加している府内では数少ない都市です。また、特に和泉中央付近は開発が進み、ホテルの建設も予定されています。このように活性化している地域もあれば、一方では人口減少が進み、コミュニティの維持・継続が難しくなっている地域もあると、審議会においても指摘されたところです。</p> <p>また、全国的に少子・高齢化が進展している中で、人口ビジョンにありますように、将来的には和泉市においても人口減少は避けられない状況にあります。人口を維持していくためには、若い世代が安心して子どもを産み育てることができるような環境づくりと、福祉や防災など、市民が安全・安心を実感できるまちづくりを進めていく必要があろうかと思っております。</p> <p>これらに対して、本審議会において、市議会の代表の方々、各種団体の代表の方々、学識の方々、公募市民委員の方々から様々なご意見を頂きました。</p> <p>和泉市におかれましては、市の優位性や地域特性を生かしたまちづくりを積極的に展開していただきたいと思います。</p> <p>最後になりますが、議事進行に際しましては、委員皆様方のご協力を頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>以上で、審議会の審議を終了させていただきます。この後の議事進行につきましては、事務局の方でよろしくお願いいたします。</p>

事務局	<p>今川会長、ありがとうございました。また、委員の皆様には、本日は答申(案)の検討について様々なご意見を頂き、ありがとうございました。</p> <p>本日を含めまして、これまで7回にわたり審議を重ねていただきましたことに対し、改めてお礼を申し上げます。本日の会議録につきましては、後日、メール、郵送等でご連絡を差し上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、第6回の会議録(案)につきましては机上に配布させていただいておりますが、修正等がございます場合は、恐れ入りますが、5月20日(金)までに事務局宛にご連絡をお願いいたします。修正等がなければ、ホームページ等にて公表してまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、審議会の閉会にあたりまして、市長の辻よりご挨拶を申し上げます。</p>
辻市長	<p>◆ 市長あいさつ</p> <p>皆様、改めまして、こんにちは。市長の辻でございます。</p> <p>本日は和泉市総合計画審議会の最終回でしたが、他の公務と重なりまして、出席が今になりましたこととお詫び申し上げますとともに、閉会の挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>昨年11月から7回にわたり、第5次和泉市総合計画策定のためのご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。担当からは「非常に活発なご意見、ご提案を頂いた」と伺っております。今川会長におかれましては、このように意義深い審議会を展開して頂きまして、心から感謝を申し上げます。</p> <p>今年、和泉市は市制施行60周年であり、昭和31年に和泉市が市として産声を上げた当初は5万人でスタートしましたが、今では187,000人の人口を有する大きな都市として発展してきました。そのうちの半分が市街化調整区域、半分が市街化区域ということで、地域によって様々な課題があります。人口過密で小学生、中学生が増えて、小学校に入れない、中学校も満杯になっているような地域もあれば、少子化が進んで学校の適正配置を考えなければならない地域もあります。</p> <p>これからは、今後10年、20年を見据えた中でのまちづくりが問われるわけですが、その中で一番心強い点は、テクノステージ和泉やトリヴェール和泉の西部地区に雇用の創出があることです。今、東京一極集中が進んでいるのは、地元で仕事がなく若い人たちが東京に流れていくという背景があるためですが、和泉市はそのような雇用の場がありますので、これからのまちづくりの大きな原動力になると考えております。</p> <p>後日、皆様方からご答申を頂くわけですが、真摯に受け止めさせていただき、これからのまちづくりにしっかりと反映してまいりたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。閉会にあたりましてのお礼の挨拶とさせていただきます。本当に長い間、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、第7回和泉市総合計画審議会を終了させていただきます。</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>